



# 道守かごしま通信



平成22年12月 第1号

北薩ブロック『道守かごしま座談会』を開催しました。

11月16日、薩摩川内市において、道守会員と行政その他地域で環境美化活動をしている団体にも呼びかけて、約70名の参加で開催しました。

テーマは『地域で取り組む美しい景観づくり』

講演では、長島町の山下景観推進課長に、長島一周40kmを「ぐるっと一周フラワーロード事業」として、町全体で沿道景観づくりに取り組んでいる様子を写真を交えて紹介していただきました。

また、参加者全員より、自己紹介を兼ねて、日頃の活動報告もあり、会場は大いに盛り上がりました。

懇親会では、今後のお互いの検討を讃え合い、親睦の和が確実に広がっていきました。



## 師走のたより

薩摩川内市の国道3号線沿いに恒例の門松が設置されています。干支の【うさぎの餅つき】をモチーフとしたデザイン。高さ4m、直径1.2m。門松の隣で、うさぎが餅つき。周囲には「川内大綱引」の綱を再利用した飾りを設置。「うさぎ」の作成については、例年どおり都(みやこ)自治会の綱引きに利用した綱を再利用。夜間はライトアップもされています。

帰省される人を暖かく迎えることと、交通事故防止等の願いも込めて設置。平成23年も、皆様が明るく迎えらるるよう祈っております。《荷馬車組合》



## 第3回 薩摩街道歴史ふれあいウォーク

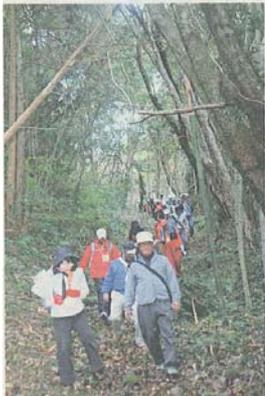
11月28日、鹿児島・熊本両県から約530名が参加して、5コースに分かれて県境越えに挑戦したり、偉人たちが残した足跡をたどりながら歩いて、当時の歴史や魅力を堪能しました。

薩摩街道保存会の一行は、「川内川を渡る一西郷お狩り場コース(約17km)」を堪能。出発点の薩摩川内市西方海水浴場から一条坂、耳切坂を経てゴールの川内川の渡唐口までを5~6時間かけて踏破しました。

保存会では、すでに50名の会員が鹿児島市西田橋から県境の水俣市袋を踏破しており、今後は日奈久~熊本城に向かいます。

《薩摩街道保存会》

先人の足取りを感じながら峠道を歩く参加者ら  
—薩摩川内市の旧薩摩街道



先人へ思いはせ古道を行く

「第3回薩摩街道歴史ふれあいウォーク」見聞の県境越えに挑戦したり、山あいの奥に、11月28日、出水市や薩摩の古道を体験したり、普段味わえない川内市、熊本県まで開かれた、向とがでない先人の足取りをかみしめる約530人が参加。熊本・鹿児島から歩いた。